

環境に関する資料集

[環境データ集]



新製品の主要環境データ	53
四輪車	53
二輪車・特機（船外機）	55
工場・会社別環境データ	56
スズキ国内工場	57
国内製造グループ会社	63
環境取り組みの歴史	67

2008年度に発売となった新製品の主要環境データを紹介します。

新製品の主要環境データは、スズキのホームページにも掲載しています。 <http://www.suzuki.co.jp>

また四輪車・二輪車につきましては、車種別環境情報として下記ホームページにも掲載しています。

<http://www.suzuki.co.jp/about/csr/environmentalInfo/index.html>

四輪車のグリーン購入法適合車種は下記ホームページをご参照ください。

<http://www.suzuki.co.jp/about/csr/green/index.html>

四輪車

車名		ワゴンR	ワゴンR スティングレー	
発売開始時期		2008.9.25		
車両型式		DBA-MH23S	CBA-MH23S	
エンジン	型式	K6A		
	総排気量(L)	0.658		
	種類	直列3気筒DOHC12バルブVVT	直列3気筒DOHC12バルブ インタークーラーターボ	
	最高出力(ネット)(KW(PS)/rpm)	40(54)/6,500	47(64)/6,000	
最大トルク(N・m(kg・m)/rpm)		63(6.4)/3,500	95(9.7)/3,000	
駆動装置	駆動方式	2WD		
	変速機	CVT		
車両重量(kg)		850	880	
燃料消費率	10・15モード燃費(km/l)	23.0	21.5	
	CO ₂ 排出量(g/km)	101	108	
	参考	2010年燃費基準+25%達成車	2010年燃費基準+20%達成車	
排出ガス	JC08モード燃費(km/l)	22.2	—	
	適合規制・認定レベル	SU-LEV	U-LEV	
	試験モード	JC08H+JC08Cモード	10・15+11モード	
	規制値・認定値等(g/km)	CO	1.15	
		NMHC	0.013	0.025
NOx		0.013	0.025	
参考	八都府市低公害車指定制度および 京阪神七府県市指定低排出ガス車(LEV-7)の基準に適合			
騒音	適合規制	平成10年規制に適合		
	加速騒音規制値(dB(A))	76		
エアコン冷媒使用量		代替フロン HFC134a 320g		
仕様		FXリミテッド	TS	

※燃料消費率は定められた試験条件での数値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
 なお、JC08モード走行は10・15モード走行に比べ、より実際の走行に近くなるように新たに設けられた試験方法で、一般的に燃料消費率はやや低い値になります。

四輪車

車名		スブラッシュ		
発売開始時期		2008.10.21		
車両型式		DBA-XB32S		
エンジン	型式	K12B		
	総排気量(L)	1,242		
	種類	直列4気筒DOHC16バルブVVT		
	最高出力(ネット)(KW(PS)/rpm)	65(88)/5,600		
	最大トルク(N・m(kg・m)/rpm)	117(11.9)/4,400		
駆動装置	駆動方式	2WD		
	変速機	CVT		
車両重量(kg)		1,050		
燃料消費率	10・15モード燃費(km/l)	18.6		
	CO ₂ 排出量(g/km)	125		
	参考	2010年燃費基準+15%達成車		
排出ガス	JCO8モード燃費(km/l)	-		
	適合規制・認定レベル	SU-LEV		
	試験モード	-		
	規制値・認定値等(g/km)	CO	1.15	
		NMHC	0.013	
NOx		0.013		
参考	八都府市低公害車指定制度および 京阪神七府県市指定低排出ガス車(LEV-7)の基準に適合			
騒音	適合規制	平成10年規制に適合		
	加速騒音規制値(dB(A))	76		
エアコン冷媒使用量		代替フロン HFC134a 370g		
仕様		-		

※燃料消費率は定められた試験条件での数値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

四輪車

車名		エスクード		
発売開始時期		2008.6.26		
車両型式		CBA-TDA4W		
エンジン	型式	J24B		
	総排気量(L)	2,393		
	種類	直列4気筒DOHC16バルブ		
	最高出力(ネット)(KW(PS)/rpm)	122(166)/6,000		
	最大トルク(N・m(kg・m)/rpm)	225(22.9)/4,000		
駆動装置	駆動方式	4WD		
	変速機	5MT	4AT	
車両重量(kg)		1,600	1,620	
燃料消費率	10・15モード燃費(km/l)	11.0	10.6	
	CO ₂ 排出量(g/km)	211	219	
	参考	2010年燃費基準適合車		
排出ガス	JCO8モード燃費(km/l)	-		
	適合規制・認定レベル	U-LEV		
	試験モード	10・15+JCO8Cモード		
	規制値・認定値等(g/km)	CO	1.15	
		NMHC	0.025	
NOx		0.025		
参考	八都府市低公害車指定制度および 京阪神七府県市指定低排出ガス車(LEV-7)の基準に適合			
騒音	適合規制	平成10年規制に適合		
	加速騒音規制値(dB(A))	76		
エアコン冷媒使用量		代替フロン HFC134a 530g		
仕様		2.4XG		

※燃料消費率は定められた試験条件での数値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
なお、JCO8モード走行は10・15モード走行に比べ、より実際の走行に近くなるように新たに設けられた試験方法で、一般的に燃料消費率はやや低い値になります。

二輪車

車名	スカイウィップ650LX	GSR400ABS	アドレスV125G・ アドレスV125Gリミテッド	グラストラッカー ビッグボーイ	
発売開始時期	2008.11.28	2009.3.9	2008.12.8	2008.9.22	
車両型式	EBL-CP52A	EBL-GK7EA	EBJ-CF4EA	JBK-NJ4DA	
エンジン	型式	P506	K719	F468	
	総排気量(cm ³)	638	398	124	
エンジン	種類	水冷・4サイクル・ 直列2気筒・ DOHC・4バルブ	水冷・4サイクル・ 直列4気筒・ DOHC・4バルブ	空冷・4サイクル・ 単気筒・SOHC	
	変速機	CVT(ベルト式無段変速)	6段リターン式	Vベルト無段変速	
車両重量(kg)	277	215	98(100※リミテッド)	139	
燃料消費率	60km/h定地走行燃費(km/L)	27.0	32.0	52.0	
	適合規制レベル	平成19年規制に適合	平成19年規制に適合	平成19年規制に適合	
排出ガス	二輪車モード 規制値(g/km)	CO	2.0	2.0	2.0
		HC	0.3	0.3	0.5
		NOx	0.15	0.15	0.15
騒音	適合規制	平成13年規制に適合	平成13年規制に適合	平成13年規制に適合	
	加速騒音規制値(dB(A))	73	73	71	

※定地走行燃費は、定められた試験条件のもとでの値です。従って、走行時の気象、道路、車両、運転、整備などの諸条件により異なります。

特機(船外機)

機種名	DF90T / 80T / 70T
発売開始時期	2008.8.7
型式	09002F / 08001F / 07002F
重量(kg)	L:160 X:164
トランザム高(mm)	L:510 X:637
最大出力(KW(PS)/rpm)	66.2(90)/5,800・58.8(80)/5,500・51.5(70)/5,500
全開使用回転範囲(rpm)	DF90:5,300~6,300 DF80,70:5,000~6,000
エンジンタイプ	DOHC 16バルブ
総排気量(cm ³)	1,502
オルタネーター出力	12V 27A
チルト&トリム方式	P.T.T
環境保全型ガソリン船外機関 認書交付番号	DF90:20海洋第0006号・DF80:20海洋第0005号・DF70:20海洋第0004号

※燃料供給方式:EPI(電子制御燃料噴射装置)

重量は、アルミプロペラ付の数値です。

エンジン表示は「PS/rpm」から「KW/rpm」へ替わりました。()内は旧単位での参考値です。

国内6工場と9製造グループ会社*の工場・会社別環境データを紹介します。各工場などは法令・条例・協定による環境規制を受けており、それぞれの最も厳しい数値を基準に環境負荷低減を進めています。

スズキではその最も厳しい基準の7割を社内基準に設定し、積極的に環境負荷低減と環境事故の発生抑制に努めています。

※9製造グループ会社の内、(株)エステックには対象設備がありません。

<凡例>

①水質【記号と名称(単位)】

pH:水素イオン濃度(なし)、

BOD:生物化学的酸素要求量(mg/L)、

SS:浮遊物質量(mg/L)、その他項目(mg/L)

②大気【記号と名称(単位)】

NOx:窒素酸化物(ppm)、

SOx:硫黄酸化物(K値)、

ばいじん(g/Nm³)、

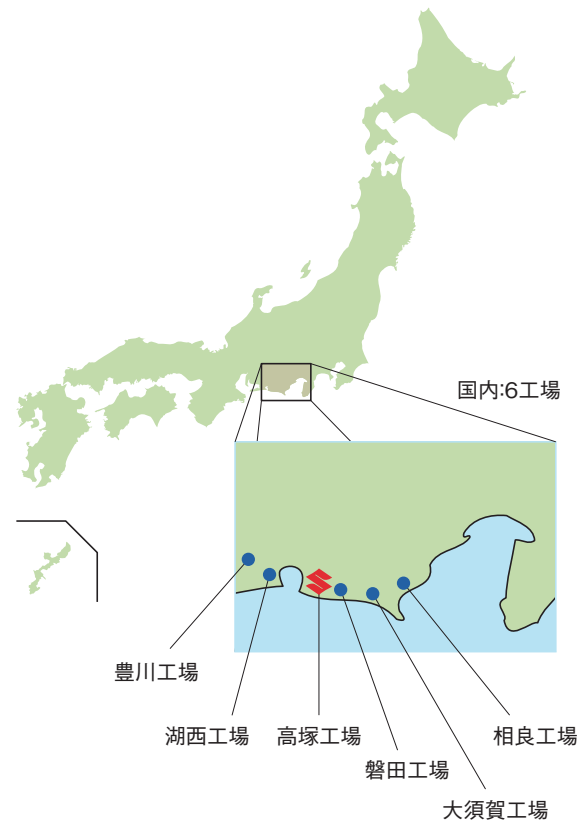
塩素・塩化水素・ふっ素・ふっ化水素(mg/Nm³)、

ダイオキシン類: ng-TEQ/Nm³

③規制値には、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、県条例、

公害防止協定のうち、最も厳しい値(一印は規制値なし)

④燃料に硫黄を含まないLPGを使用している設備は、SOx測定なし



スズキ国内工場

●湖西工場



- 【業務内容】 軽・小型乗用車の完成車組立など
- 【敷地面積】 1,096,000m²
- 【建物面積】 461,000m²
- 【従業員数】 2,309人
- 【所在地】 静岡県湖西市白須賀4520

<水質関係(排水口)>第一排水口(第一工場、第二工場)

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	7.7~8.1	7.9
BOD	15	1.1~3.2	2.2
SS	15	5.0未満	5.0未満
油分	2	1.0未満	1.0未満
鉛	0.1	0.01未満	0.01未満
クロム	0.4	0.05未満	0.05未満
全窒素	12	1.8~2.8	2.3
全リン	2	0.08~0.45	0.23
亜鉛	1	0.05未満~0.19	0.11

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	小型ボイラー	150	70~120	94
	焼却炉	200	96~110	102
	電着乾燥炉	230	59~75	67
	冷温水機1	150	48~60	55
	冷温水機2	150	57~58	58
	冷温水機3	150	81~100	91
	水管ボイラー	150	70~120	94
SOx (K値)	小型ボイラー	7	0.09未満	0.09未満
	焼却炉	7	0.47~0.80	0.64
	電着乾燥炉	7	0.04未満	0.04未満
ばいじん	小型ボイラー	0.1	0.01未満~0.01	0.01
	焼却炉	0.15	0.01未満~0.02	0.01
	電着乾燥炉	0.2	0.01未満	0.01未満
	冷温水機1	0.1	0.01未満	0.01未満
	冷温水機2	0.1	0.01未満	0.01未満
	冷温水機3	0.1	0.01未満	0.01未満
	水管ボイラー	0.1	0.01未満	0.01未満
塩化水素	焼却炉	150	6~28	15
ダイオキシン	焼却炉	5	0.012	0.012
CO	焼却炉	100	7	7

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位: kg/年 (ダイオキシンはmg-TEQ/年)

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	分解・除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
1	亜鉛の水溶性化合物	50,000	0	870	0	0	0	0	14,000	0	35,000
30	4,4'-イソプロピルピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物(液状のものに限る)	37,000	0	0	0	0	0	0	5,500	0	31,000
40	エチルベンゼン	300,000	170,000	0	0	0	0	0	85,000	12,000	26,000
43	エチレングリコール	1,200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	1,200,000
63	キシレン	610,000	260,000	0	0	0	0	0	130,000	110,000	120,000
176	ジブチルスズオキシド	18,000	0	0	0	0	0	0	920	0	17,000
179	ダイオキシン類	120	1.1	0.044	0	0	0	120	0	0	0
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	94,000	51,000	0	0	0	0	0	25,000	18,000	0
227	トルエン	630,000	210,000	0	0	0	0	0	99,000	130,000	190,000
231	ニッケル	7,400	0	370	0	0	0	0	4,800	0	2,200
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	64,000	2,100	0	0	0	0	0	1,900	0.06	61,000
283	フッ化水素及びその水溶性塩	5,800	0	650	0	0	0	0	3,500	1,700	0
299	ベンゼン	22,000	240	0	0	0	0	0	0	6,100	15,000
307	ポリ(オキシチレン)=アルキルエーテル	10,000	0	770	0	0	0	0	0	9,400	0

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、分解・除去、製品)の合計とずれる場合があります。

●磐田工場



【業務内容】 軽・小型乗用車の完成車組立など
 【敷地面積】 298,000m²
 【建物面積】 163,000m²
 【従業員数】 1,532人
 【所在地】 静岡県磐田市岩井2500

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	7.7~7.9	7.8
BOD	15/20	1.0未満~2.1	1.4
SS	30/40	5.0未満	5.0未満
油分	3	1.0未満	1.0未満
鉛	0.1	0.01未満	0.01未満
クロム	2	0.05未満	0.05未満
全窒素	60/120	5.8~14.2	10.6
全リン	8/16	0.5~4.3	1.4
亜鉛	1	0.05未満~0.15	0.09

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	ボイラー1	130	49~100	75
	ボイラー3	150	110	110
	小型ボイラー	—	130	130
	温水ボイラー	150	100	100
	冷温水機	150	92~99	96
SOx (K値)	ボイラー3	17.5	2.73~3.51	3.12
	小型ボイラー	17.5	0.35~0.62	0.58
ばいじん	ボイラー1	0.1	—	—
	ボイラー3	0.25	0.01未満	0.01未満
	小型ボイラー	—	0.01未満	0.01未満
	温水ボイラー	0.1	—	—
	冷温水機	0.1	0.01未満	0.01未満

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位: kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	分解・除去	製品	
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物				
1	亜鉛の水溶性化合物	14,000	0	120	0	0	0	0	7,300	0	0	6,700
30	4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物(液状のものに限る)	9,100	0.02	0	0	0	0	0	1,600	0	0	7,400
40	エチルベンゼン	140,000	83,000	0	0	0	0	0	41,000	5,300	14,000	
43	エチレングリコール	890,000	1,300	0	0	0	0	0	780	390	890,000	
63	キシレン	270,000	110,000	0	0	0	0	0	56,000	36,000	67,000	
176	ジブチルスズオキサイド	3,000	0	0	0	0	0	150	0	0	2,900	
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	46,000	27,000	0	0	0	0	0	13,000	6,400	0	
227	トルエン	290,000	94,000	0	0	0	0	0	21	44,000	49,000	110,000
231	ニッケル	1,500	0	13	0	0	0	0	710	0	0	810
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	82,000	16,000	0	0	0	0	0	1,900	0	0	63,000
299	ベンゼン	11,000	39	0	0	0	0	0	0	2,400	8,400	

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、分解・除去、製品)の合計とずれる場合があります。

●相良工場



- 【業務内容】 小型車および四輪車エンジンの組立
エンジン主要部品の鋳造及び機械加工など
- 【敷地面積】 1,963,000m²
- 【建物面積】 251,000m²
- 【従業員数】 1,778人
- 【所在地】 静岡県牧之原市白井1111

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	7.4~7.8	7.7
BOD	20/30	1.0~12	4.6
SS	30/40	5.0未満	5.0未満
油分	5	1.0未満	1.0未満
鉛	0.1	0.01未満	0.01未満
クロム	0.4	0.05未満	0.05未満
全窒素	60/120	4.1~7.9	5.2
全リン	8/16	0.13~0.34	0.24
亜鉛	1	0.09~0.29	0.21

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	熱処理炉	180	41~46	44
	乾式集塵機	180	5未満	5未満
	アルミ溶解炉	180	31~45	37
ばいじん	熱処理炉	0.2	0.01未満	0.01未満
	乾式集塵機	0.2	0.01未満	0.01未満
	アルミ溶解炉	0.2	0.01未満	0.01未満
塩素	乾式集塵機	10	1未満	1未満
塩化水素	乾式集塵機	20	5未満	5未満
ダイオキシン	乾式集塵機	1	0.00000009	0.00000009
	アルミ切粉前処理	1	0.00000015	0.00000015

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位: kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	分解・除去	製品	
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物				
1	亜鉛の水溶性化合物	4,500	0	27	0	0	0	0	1,300	22	0	3,100
30	4,4'-インプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物(液状のものに限る)	4,200	82	0	0	0	0	0	340	50	25	3,700
40	エチルベンゼン	35,000	19,000	0	0	0	0	0	0	9,700	2,700	3,300
63	キシレン	69,000	29,000	0	0	0	0	0	0	14,000	11,000	15,000
176	ジブチルスズオキサイド	2,400	0	0	0	0	0	0	120	0	0	2,300
179	ダイオキシン類	1.9	0.000012	0	0	0	0	0	1.9	0	0	0
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	14,000	9,100	0	0	0	0	0	0	4,400	390	0
227	トルエン	69,000	20,000	0	0	0	0	0	17	9,800	16,000	24,000
299	ベンゼン	2,800	43	0	0	0	0	0	0	0	870	1,900

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、分解・除去、製品)の合計とずれる場合があります。

●高塚工場



- 【業務内容】 二輪車エンジンの組立、機械加工など
- 【敷地面積】 182,000m² (本社の面積含む)
- 【建物面積】 139,000m² (本社の面積含む)
- 【従業員数】 622人 (本社人員含まず)
- 【所在地】 静岡県浜松市南区高塚町300

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	7.3~7.8	7.5
BOD	20/30	1.0未満~1.1	1.0
SS	30/40	5.0未満~5.8	5.3
油分	5	2.5未満	2.5未満
鉛	0.1	0.01未満	0.01未満
クロム	0.1	0.05未満	0.05未満
全窒素	60/120	3.9~35	20
全リン	8/16	0.12~0.21	0.15
亜鉛	1	0.05未満~0.09	0.06

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	小型ボイラー	140	77~100	89
	LPG焚き空調機	150	60~87	74
SOx (K値)	小型ボイラー	7	1.35~2.44	1.97
	LPG焚き空調機	7	0.06	0.06
ばいじん	小型ボイラー	180	10~30	20

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位: kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	分解・除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
40	エチルベンゼン	14,000	3.7	0	0	0	0	0	0	14,000	1.8
63	キシレン	67,000	25	0	0	0	0	0	0	67,000	8.4
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	1,900	0.13	0	0	0	0	0	0	1,900	0
227	トルエン	130,000	580	0	0	0	0	0.01	0	128,000	13
231	ニッケル	3,000	0	0	0	0	0	0	2,100	0	880
283	フッ化水素及びその水溶性塩	9,100	0	830	0	0	0	0	0	8,300	0
299	ベンゼン	7,500	5.3	0	0	0	0	0	0	7,500	1.1

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、分解・除去、製品)の合計とずれる場合があります。

●豊川工場



- 【業務内容】 二輪車・船外機の完成車組立など
- 【敷地面積】 187,000m²
- 【建物面積】 78,000m²
- 【従業員数】 792人
- 【所在地】 愛知県豊川市白鳥町兔足1-2

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	7.0~7.2	7.1
BOD	25	1.0未満~1.5	1.2
SS	30	5.0未満	5.0未満
油分	5	2.5未満	2.5未満
鉛	0.1	0.005未満~0.02	0.0061
クロム	0.5	0.05未満	0.05未満
COD(総量)	27.51	0.09~12.5	3.50
全窒素(総量)	19.24	0.01~5.45	1.63
全リン(総量)	2.55	0.02~1.11	0.36
亜鉛	2	0.05未満~0.16	0.09

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	ボイラー1	—	60~74	67
	吸収式冷温水機1	150	58~65	62
	乾燥炉1	—	—	—
	乾燥炉2	—	—	—
ばいじん	ボイラー1	—	—	—
	吸収式冷温水機2	0.2	—	—
	乾燥炉1	0.4	0.01	0.01
	乾燥炉2	0.4	0.01	0.01

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位: kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	分解・除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
40	エチルベンゼン	20,000	12,000	0	0	0	0	0	6,000	760	1,300
43	エチレンジクロール	180,000	0	0	0	0	0	0	0	0	180,000
63	キシレン	30,000	15,000	0	0	0	0	0.2	7,200	1,800	6,300
69	六価クロム	1,000	0	1.0	0	0	0	7.2	0	0.02	1,000
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	2,700	1,700	0	0	0	0	0	840	78	0
227	トルエン	160,000	100,000	0	0	0	0	0.34	48,000	2,100	9,900
299	ベンゼン	940	7.8	0	0	0	0	0	0	140	790

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、分解・除去、製品)の合計とずれる場合があります。

●大須賀工場



【業務内容】 鋳造部品の製造など
 【敷地面積】 151,000m²
 【建物面積】 55,000m²
 【従業員数】 485人
 【所在地】 静岡県掛川市西大淵6333

<水質関係(排水口)>

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	7.5~7.8	7.6
BOD	10/15	1.1~3.5	2.5
SS	30/40	5.0未満~7.0	5.5
油分	2	1.0未満	1.0未満
鉛	1	0.01未満	0.01未満
クロム	2	0.05未満	0.05未満
全窒素	60/120	4.1~7.9	5.2
全リン	8/16	0.13~0.34	0.24
亜鉛	1	0.05未満~0.07	0.06

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
ばいじん	鋳鉄溶解炉	0.1	0.01未満	0.01未満
	アルミ溶解炉	0.2	0.01未満~0.02	0.01
	アルミ溶解保持炉	0.2	0.01未満	0.01未満
塩素	アルミ溶解炉	10	1未満	1未満
	アルミ溶解保持炉	10	4~5	5
塩化水素	アルミ溶解炉	20	5未満	5未満
	アルミ溶解保持炉	20	5未満	5未満
フッ素・フッ化水素	アルミ溶解炉	1	0.3未満	0.3未満
	アルミ溶解保持炉	1	0.3未満	0.3未満

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位: kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	分解・除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
40	エチルベンゼン	1,800	930	0	0	0	0	54	450	390	0
63	キシレン	5,800	2,700	0	0	0	0	82	1,400	1,600	0
227	トルエン	4,700	1,800	0	0	0	0	350	580	1,900	0
311	マンガン及びその化合物	180,000	0	0	0	0	0	3,600	0	0	180,000
346	モリブデン	2,800	0	0	0	0	0	56	0	0	2,700

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、分解・除去、製品)の合計とずれる場合があります。

国内製造グループ会社

●(株)スズキ部品浜松

【業務内容】 自動車部品切削加工、
ダイカスト鑄造と切削加工
【敷地面積(建物面積)】 64,525m²

【従業員数】 439人
【所在地】 静岡県磐田市南平松7-3

<水質関係(排水口)> 年間排水量:123,821m³

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	6.8~7.7	7.2
BOD	20	0.5~2.8	1.0
SS	40	1.0~7.0	3.0
油分	5	0.5~1.9	0.9
全窒素	60	1.4~10.0	5.2
亜鉛	3	0.05~0.16	0.1

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	アルミ溶解炉	15	1未満	1未満
ばいじん	アルミ溶解炉	0.075	0.02未満	0.02未満
塩素	アルミ溶解炉	30	0.9未満	0.9未満
塩化水素	アルミ溶解炉	80	1.2~3.8	2.5
フッ素・フッ化水素	アルミ溶解炉	3	0.7未満	0.7未満

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位: kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	消却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
227	トルエン	210	210	0	0	0	0	0	0	0	0
253	ヒドラジン	20	0	0	0	0	0	20	0	0	0

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

●スズキ精密工業(株)

【業務内容】 自動車部品の鑄造、
熱処理及び歯切加工
【敷地面積(建物面積)】 82,350m²(38,000m²)

【従業員数】 544人
【所在地】 静岡県浜松市北区引佐町井伊谷500

<水質関係(排水口)> 年間排水量:86,488m³

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	6.6~7.4	7.1
BOD	15	2.4~12	6.7
SS	20	2~4.5	2.1
油分	5	0.7~3.0	1.8
全窒素	60/120	16~28	20.7
全リン	8/16	0.04~0.10	0.08
亜鉛	1	0.05~0.20	0.10

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	連続浸炭炉	180	48~50	48.9
	焼鈍炉	180	48~50	48.6
	冷温水発生器	150	39~52	51.3
SOx (K値)	連続浸炭炉	17.5	0.08~0.09	0.086
	焼鈍炉	17.5	0.08	0.08
	冷温水発生器	17.5	0.07~0.16	0.115
ばいじん	連続浸炭炉	0.2	0.01	0.01
	焼鈍炉	0.2	0.01	0.01
	冷温水発生器	0.1	0.01	0.01

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位: kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	消却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
1	亜鉛の水溶性化合物	1,200	0	0	0	0	0	0	1,000	0	170
16	2-アミノエタノール	21	0	0	0	0	0	21	0	0	0
40	エチルベンゼン	8.4	8.4	0	0	0	0	0	0	0	0
63	キシレン	50	50	0	0	0	0	0	0	0	0
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	32	32	0	0	0	0	0	0	0	0
227	トルエン	120	120	0	0	0	0	0	0	0	0
232	ニッケル化合物	8.5	0	0	0	0	0	0	7.4	0	1.1
270	フタル酸ジ-n-ブチル	1.1	0	0	0	0	0	0	0	0	1.1
304	ホウ酸及びその化合物	140	0	0	0	0	0	140	1.6	0	120
309	ポリ(オキシチレン)= ノニフェニルエーテル	33	0	0	0	0	0	29	0	0	4.3
311	マンガン及びその化合物	1,000	0	0	0	0	0	0	880	0	0

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

●(株)スズキ部品秋田

【業務内容】 自動車部品の鋳造及び切削加工
 【敷地面積(建物面積)】 199,504m²(25,394m²)

【従業員数】 396人
 【所在地】 秋田県南秋田郡井川町浜井川
 字家の東192-1

<水質関係(排水口)> 年間排水量:55,552m³

項目	規制値	実績	平均
pH	6.0~8.5	7.0~7.4	7.3
BOD	20	1.0~9.6	6.0
SS	30	4.9~14	9.4
油分	4	0.5~1.7	0.8
全窒素(総量)	39.5	1.1~8.6	4.0
全リン(総量)	4	0.14~0.69	0.29
亜鉛	2	0.06~0.40	0.24

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	小型ボイラー	180	47~84	66
SOx(K値)	小型ボイラー	0.26	0.01未満	0.01未満
ばいじん	小型ボイラー	0.3	0.01未満	0.01未満

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位: kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	消却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
1	亜鉛の水溶性化合物	2,400	0	0	0	0	0	1,500	0	0	970
40	エチルベンゼン	30	30	0	0	0	0	0	0	0	0
63	キシレン	4,500	280	0	0	0	0	0	0	4,300	0
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	2,900	18	0	0	0	0	0	0	2,900	0
227	トルエン	160	160	0	0	0	0	0	0	0	0
299	ベンゼン	7.8	7.8	0	0	0	0	0	0	0	0
309	ポリ(オキシチレン)= ノニフェニルエーテル	90	0	0	0	0	0	90	0	0	0

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

●遠州精工(株)

【業務内容】 自動車部品の切削加工
 【敷地面積(建物面積)】 2,307m²

【従業員数】 281人
 【所在地】 静岡県浜松市天竜区山東1246-1

<水質関係(排水口)> 年間排水量:36,326m³

項目	規制値	実績	平均
pH	6.5~8.2	7.3~7.5	7.4
BOD	10	1.0~8.6	4.6
COD	35	6.6~24	15.3
SS	15	2.0~9.7	2.6
油分	3	0.5~1.9	1.1
クロム	2	0.05未満	0.05未満

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
塩化水素	アルミ集中溶解炉	80	5未満	5未満
塩素	アルミ集中溶解炉	30	1未満	1未満
フッ素化合物	アルミ集中溶解炉	3	1未満	1未満

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位: kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	消却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
63	キシレン	2,500	2,000	0	0	0	0	450	0	0	0
227	トルエン	1,700	970	0	0	0	0	690	0	0	0

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

●スニック(株)

【業務内容】 自動車内装部品の製造
 【敷地面積(建物面積)】 21,000m²

【従業員数】 450人
 【所在地】 静岡県磐田市東平松1403

<水質関係(排水口)> 年間排水量:12,196m³

項目	規制値	実績	平均
pH	6.0~8.5	7.0~7.4	7.4
BOD	20	1.0~4.9	3.0
SS	40	2.0~8.4	3.6
油分	5	0.7~2.2	1.0
亜鉛	2	0.07~0.10	0.08

<大気関係(排気口)>

対象設備がありません。

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位: kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	消却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
43	エチレングリコール	15,000	5,900	0	0	0	0	0	0	0	9,100
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	130,000	3,000	0	0	0	0	0	0	0	130,000
338	トリレンジイソシアネート	920,000	0	0	0	0	0	1,800	0	0	920,000

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

●(株)浜松パイプ

【業務内容】 自動車用パイプ部品の製造
 【敷地面積(建物面積)】 36,000m²

【従業員数】 164人
 【所在地】 静岡県磐田市南平松6-2

<水質関係(排水口)>

排水は(株)スズキ部品浜松に送水して処理しています。

<大気関係(排気口)>

対象設備がありません。

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位: kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	消却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
68	クロム及び3価クロム化合物	17,000	170	0	0	0	0	0	430	0	0
231	ニッケル	6,700	67	0	0	0	0	0	170	0	0
311	マンガン及びその化合物	1,900	20	0	0	0	0	0	49	0	0

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

●(株)スズキ部品富山

【業務内容】 自動車部品の加工
 【敷地面積(建物面積)】 75,000m²

【従業員数】 354人
 【所在地】 富山県小矢部市水島3200

<水質関係(排水口)> 年間排水量:295,734m³

項目	規制値	実績	平均
pH	6~8	6.7~7.7	7.2
BOD	15	1.7~12.1	6.4
SS	15	1.0~10.4	4.4
油分	5	0.5~1.0	0.7
鉛	0.08	0.005未満~0.047	0.0087
クロム	2	0.02未満	0.02未満
全窒素	60/120	0.7~7.0	3.8
全リン	8/16	0.18~1.3	0.71
亜鉛	2	0.2未満	0.2未満

<大気関係(排気口)>

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	ボイラー	150	91~110	98
SOx (K値)	ボイラー	3.8	0.031~0.10	0.05
ばいじん	ボイラー	0.3	0.0001~0.002	0.0006

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位: kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	消却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
40	エチルベンゼン	1,300	1,300	0	0	0	0	0	0	0	0
63	キシレン	4,400	4,400	0	0	0	0	0	0	0	0
227	トルエン	4,700	4,700	0	0	0	0	0	0	0	0
232	ニッケル化合物	5,640	0	80	0	0	0	3,550	270	0	1,740

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

●(株)スズキ化成

【業務内容】 自動車内装部品の製造
 【敷地面積(建物面積)】 21,000m²(6,000m²)

【従業員数】 110人
 【所在地】 静岡県浜松市浜北区平口5158-1

<水質関係(排水口)>

対象設備がありません。

<大気関係(排気口)>

対象設備がありません。

<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>

単位: kg/年

物質番号	物質名	取扱量※	排出		移動				リサイクル	消却除去	製品
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
63	キシレン	5,700	5,700	0	0	0	0	0	0	0	0
227	トルエン	12,000	12,000	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 有効数字2桁でまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出、移動、リサイクル、焼却除去、製品)の合計とずれる場合があります。

スズキの環境への取り組みと主な出来事を年表にしました。

環境対策の歩み

1970年	3月	大阪万国博覧会会場で、キャリイバン電気自動車10台が使用される
1971年	7月	生産工程の環境対策部門として生産技術部設備課に環境保安係を設置
1977年	4月	スズキグループ安全衛生公害問題研究協議会を発足
1978年	12月	キャリイバン電気自動車を開発
1981年	12月	(財)機械工業振興助成財団(現:スズキ財団)主催の省エネルギーシンポジウムを開催
1989年	8月	製品も含め環境問題への全社的取り組みを強化するため、環境問題審議会を設置
1990年	3月	全国の代理店に回収機を配備し、カーエアコン冷媒の特定フロンの回収、再利用を開始
1991年	12月	発泡用特定フロン(シート等のウレタンフォーム材に使用)の使用を全廃
1992年	1月	樹脂製部品への材料名の表示を開始
		無段変速装置SCVTを開発(カルタスコンバーチブルに搭載)
	10月	天然ガススクーターを開発
	11月	廃棄物の減量化と再利用を推進するため、生産技術開発部に廃棄物対策グループを設置
1993年	12月	アルト電気自動車、エブリイ電気自動車を発売
	3月	「環境保全取り組みプラン」を策定
	5月	環境保安係と廃棄物対策グループを統合し、環境産廃グループとして再編、強化
1994年	12月	カーエアコン冷媒の代替フロン化を完了
	6月	販売店で発生する使用済みバンパーの回収、リサイクルを開始
	8月	塗装排水汚泥の再利用設備を設置し、アスファルトシートへの再利用を開始 鋳造工場の鋳物廃砂のセメント原料への再利用を開始
1995年	1月	廃棄物焼却炉を更新し、廃棄物の減量化と廃熱利用(蒸気)を拡大
	8月	省エネルギーを推進するため湖西工場にコージェネレーション設備を導入
1996年	4月	電動アシスト自転車「LOVE」を発売
	5月	「環境保全取り組みプラン(フォローアップ版)」を策定
	12月	相良工場にコージェネレーション設備を導入
1997年	3月	ワゴンR天然ガス自動車を開発
	5月	アルト電気自動車、エブリイ電気自動車を大幅に改良して発売
	10月	4ストローク船外機がシカゴボートショーで技術革新賞を受賞
	12月	「車の解体マニュアル」を発行し、代理店に配付
1998年	2月	大須賀工場にコージェネレーション設備を導入
		「使用済み自動車リサイクル・イニシアティブ自主行動計画」を策定
	4月	ハンガリーの生産工場のマジャールスズキ社でISO14001の認証を取得
	7月	湖西工場でISO14001の認証を取得
	10月	新型軽自動車で10・15モード燃費29.0km/ℓを達成したリーンバンエンジン搭載車を発売
		スズキ4ストローク船外機が2年連続で技術革新賞を受賞
12月	環境に配慮したパイプ曲げ加工技術を開発	
1999年	3月	二輪車用の新触媒を開発(スクーター「Let's!!」に搭載)
	5月	低燃費車アルト「Scリーンバン」CVTを新発売
	6月	「ワゴンR 天然ガス(CNG)自動車」を新発売
	8月	エブリイ電気自動車の新モデルを発売
	9月	大須賀工場、相良工場でISO14001の認証を取得
	10月	アルトのアイドリング・ストップシステム採用車を発売
「スズキPu-3 コミュータ」が東京モーターショー「ザ ベスト コンセプトカー」特別賞を受賞		
電動アシスト自転車「LOVE(ラブ)」シリーズをフルモデルチェンジし発売		

1999年	11月	インドのマルチ・ウドヨグ社(現:マルチ・スズキ・インディア社)でISO14001の認証を取得 有機溶剤を使用せずに超音波で洗浄する、環境に配慮した超音波卓上洗浄機「SUC-300H-600H」を新発売
	12月	「エブリイ天然ガス(CNG)自動車」を新発売
2000年	1月	小型のバンパー破砕機を自社開発
	2月	スペインのスズキスペイン社でISO14001の認証を取得
	6月	カナダのカミ・オートモティブ社でISO14001の認証を取得
	7月	環境に配慮した電動車「セニアカー」の輸送用パッケージが、日本パッケージングコンテストで「ロジスティクス賞」を受賞
	10月	電動アシスト自転車「LOVE(ラブ)」をフルモデルチェンジし発売
	11月	環境に配慮した電動車「セニアカー」の輸送用パッケージが、世界パッケージングコンテストで「ワールドスター賞」を受賞
	12月	豊川工場でISO14001の認証を取得
2001年	1月	国内の二・四輪工場の塗装工程での鉛使用を全廃
	3月	バンパー破砕機の設置を全国に拡大
	4月	技術、製品、製造、流通等の環境問題を担当する環境企画グループを新設 環境問題への取り組みを強化するため、これまでの環境問題審議会に替わり環境委員会を設置
	8月	埋立廃棄物を大幅に削減し、ゼロレベル化目標を達成
	10月	GMと燃料電池技術分野で相互協力
2002年	1月	電気自動車のコンセプトカー「Covie」がデトロイトモーターショーにおいて、米オートモティブ・ニュース誌の「コンセプトカー最優秀環境賞」受賞
	3月	アイドリングストップ運動開始
	7月	軽四輪車用エンジンで初めて、低燃費と高出力を両立した直噴ターボエンジンを実用化
2003年	1月	軽乗用車で初となるハイブリッド自動車「ツイン」を新発売 省資源に優れた新発想のスクーター「チョイノリ」を新発売
	3月	磐田工場でISO14001の認証を取得 本社工場でISO14001の認証を取得 風力発電設備を引佐研修センターに設置
	7月	IMDS(International Material Data System)に加入
	9月	グリーン調達ガイドラインを発行 「超・低排出ガス」認定車を発売
	10月	自再協、ART を他社メーカーと共同で設立
2004年	2月	風力発電装置を湖西工場に設置(2基)
	7月	二輪車リサイクル料金を発表 使用済み自動車(四輪車)リサイクル料金を発表
	8月	日本国内で初めて燃料電池車用700気圧圧縮水素貯蔵システムの認可を取得 カーシェアリング(車両共同利用)システムに対応した「MRワゴン カーシェアリング専用車」を発売
	7月	アルミ表面のアルマイト皮膜を平滑化し、耐食性、耐久性を向上させる「ハイパー・アルマイト」を開発
2005年	8月	「チームマイナス6%」に参加
	10月	舟艇工業会による「FRP 船リサイクルシステム」への参画とリサイクル料金の発表
2006年	9月	燃料電池を搭載した電動車いす「MIO(ミオ)」を開発し、国際福祉機器展に参考出品
2007年	10月	燃料電池二輪車「クロスゲージ」を開発し、東京モーターショーへ参考出品
	11月	スズキ環境管理規程の制定
2008年	4月	スズキの「歴史」と「ものづくり」を紹介する「スズキ歴史館」が開館
	6月	新開発の燃料電池車「SX4-FCV」の大臣認定を取得
	7月	北海道洞爺湖サミット 国際メディアセンター「環境ショーケース」に「SX4-FCV」を出展